

8・6ヒロシマへ!

2017年7月12日
No.479

Tel 03-3651-4861
mail_cn001@zengakuren.jp
http://www.zengakuren.jp/

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信

公安警察国賠訴訟 第2回!

国賠訴訟の前に行われた石川再審デモ。東京地裁前で石川さんと交歓

公安の暴行開き直りを 徹底弾劾!

国賠訴訟第2回口頭弁論報告

7月10日、東京地裁(民事第31部 小野寺真也裁判長)において昨年9月の全学連大会への公安警察襲撃に対する国家賠償請求訴訟・第2回口頭弁論が15時から行われました。大坂正明さんに対する「殺人罪」デッチ上げ起訴、また共謀罪の強行採決以後はじめての国賠裁判であり、決定的な訴訟になりました。しかも、本裁判は、第2回目にもかかわらず、裁判長が交替するという異例の展開の中で行われました。

冒頭は、原告である東北大学の安澤和芳君が意見陳述に立ちました。安澤君は、被告である東京都、警視庁公安一課が裁判直前に地裁に提出した『準備書面(1)』を徹底的に批判。公安警察が全学連に行った暴行を100%開き直り、逆に“むしろ「公務執

行妨害」罪を起こした原告の方が悪い”と恥知らずに主張していることを徹底的に弾劾しました。この事実を知った傍聴席からも激しい怒りが叩きつけられました。そして、安澤君は、「司法権力は、99%が人間らしく生きるために闘う労働者民衆の立場に立たなければ、打倒される以外にない」と語り、本裁判を学生運動、労働運動を発展させるために闘うと決意を語りました。傍聴席からも拍手があり、相



第二回国賠訴訟後の総括集会

手側の弁護士も終始圧倒されています。

また、国賠訴訟の審議進行に関する論議でも、東京都、公安警察は、「現場を撮影した画像、映像データを持っている」と明言しながらも「データ提出をする予定はない」とうそぶく本当に許しがたい態度に出てきました。原告、傍聴席からも激しい怒り、弁護士の追求に対しても、「答えない」の一点張りです。しかし、暴行を開き直りながらも相手側の弁護士は、まったく気迫もありません。

国賠訴訟終了後の総括集会では、森川文人主任弁護士は、「実力で証拠データと公安警察を引きずり出してやろう」と発言し、安澤くんは「勝てる裁判だし、やるからには絶対勝ちたい」と改めて決意を

語りました。斎藤委員長もまとめの発言で、「三権分立なんかウソ、この裁判を見ればわかる」「国家権力の本質を鮮明にさせる裁判を通して多くの学生、労働者を結集させ、獲得しよう」と発言し、8・6ヒロシマ大行動、全学連大会への結集を提起した。次回の国賠訴訟は10月2日（月）15時からです。傍聴席を埋め尽くす結集で国賠訴訟を闘おう！国賠の前進は星野さん、大坂さんを取り戻す最大の闘いでもあります。全学連は安倍政権打倒へ！国家権力の暴力・弾圧打ち破る学生運動を作り上げます。

(全学連・N)

8・6ヒロシマ大行動へ!

国際連帯で、トランプ・安倍の朝鮮戦争・核戦争を阻止しよう!
ヒロシマ・福島・沖縄の怒りで、改憲・戦争・核武装の安倍たおせ!
被曝労働拒否! ゼネストで、原発・基地・戦争をなくそう!

被爆72周年

8・6ヒロシマ大行動

NO WAR NO NUKES HIROSHIMA ACTION

8月5日(土) @広島市東区民文化センター (広島駅新幹線口から徒歩10分)

- 12:30 開場 産別労働者集会 (国鉄、教育、郵政、医療福祉、合同労働など各会場)
- 15:30 ~ 17:00 被曝労働拒否! 福島連帯集会 (大ホール)
- 17:30 ~ 19:00 オキナワとヒロシマを結ぶ全国青年労働者交流集会 (大ホール)
- ◎全国学生交流集会 16:30 ~ ◎広島大学学生会館集会室4 (東広島市 広大西条キャンパス)

8月6日(日) 8・6ヒロシマ大行動集合チケット 一般 1000円
被爆者、障害者、学生 500円 高校生以下無料
※祝日あり、どなたでも参加できます。

- 7:15 ~ 8:15 8・6アピール集会 @原爆ドーム前
 - 8:20 ~ 9:00 安倍首相弾劾デモ (中国電力前解散)
 - 12:30 ~ 8・6ヒロシマ大集会 @広島県立総合体育館 小アリーナ (中区基町4-1)
 - 15:00 ~ 改憲・戦争の安倍たおせ!
8・6ヒロシマ大行進 (原爆資料館前解散)
- アピール(予定) 被爆者、福島、沖縄、被曝労働拒否を闘う労働組合、国際連帯ー韓国テグ・城西工団労組、サード配備阻止闘争ほか



被爆72周年 8・6ヒロシマ大行動実行委員会 ブログ <http://86hiroshima.blogspot.jp/>

広島市中区福町 14-3-705 電話・FAX 082-221-7631 メール 86hiroshima.daikoudo@gmail.com
共同代表: 下田禮子 (反戦被爆者の会) 中島健 (被爆二世) 大江摩子 (セイブ・ザ・イラクトルドレン広島代表 安芸大田町議)
大江潤己 (国鉄西日本動力車労働組合委員長) 室本けい子 (NPO 法人よもぎのアトリエ) 吉原美瑠子 (被爆者・キリスト者)

今年の8・6ヒロシマ大行動の第一の柱は、何よりも切迫する朝鮮戦争を絶対に阻止する闘いにあることです。この戦争を止める力は、労働者民衆の団結と国際連帯の闘いのみあります。

トランプや安倍は、北朝鮮を追い詰めながら、新自由主義の延命と韓国から始まった労働者の革命を圧殺するためにこそ戦争を始めようとしています。それはいったん火がつけば、東アジア、全世界をまきこむ核戦争にまでなる戦争です。被爆者を先頭とする「ヒロシマ・ナガサキを繰り返させない!」の誓いと行動は、朝鮮戦争・核戦争が始まる前にとめる闘いとして、貫かれなければなりません。

8・6ヒロシマ大行動を通して、テグの城西工団労組との団結がつけられ、反原発運動やソングジュのサード配備阻止闘争との連帯も生まれています。8・6ヒロシマから「労働者民衆の国際連帯でトランプ・安倍の朝鮮戦争・核戦争が始まる前に阻止しよう!」と全世界に呼びかけましょう。

(実行委員会呼びかけ文抜粋)